

しなやかな心で

第55回 精神保健福祉岐阜県大会

こころの健康フェスティバル

期日 平成
28年

10月26日水

場所

不二羽島文化センター

(羽島市文化センター：5月に呼称変更)

〒501-6244 羽島市竹鼻町丸の内6-7 TEL 058-393-2231

特別講演 13:30~15:00

入場
無料

「こころの健康を考える ～家族・当事者・精神科医の立場から～」



講師：夏苺 郁子氏
(やきつべの径診療所精神科医)

夏苺郁子 (なつかり いくこ) 氏の紹介

- ・浜松医科大学医学部を卒業後、同精神科助手、共立菊川病院、神経科浜松病院を経て、2000年やきつべの径診療所(静岡県焼津市)を開業。
- ・北海道札幌生まれ。10歳のとき、母が統合失調症にかかる。家庭を顧みず収入を家に入れぬ父親とは疎遠であり、病んだ母親と二人の孤立した過酷な少女時代を送る。両親が離婚した後、実家に引き取られた母と会うことを拒む。父の籍に残ることになったがもともと疎遠な父と暮らすことはなく、孤独と絶望から2度の自殺未遂。友人の仲介により母と再会した。その後イラストレーターの中村ユキが著した「我が家の母はビョーキです」という本を読んで、母の統合失調症と真正面から向き合うことにした。
- ・こころの健康について、家族・当事者・精神科医という3つの立場から貴重な体験に基づくお話をさせていただく。

やきつべの径診療所

- ・一般成人、青年の治療に加え、思春期児童のための治療を行うデイケア施設を開設。
- ・不登校やいじめなどによる対人恐怖症、神経症、引きこもり、発達障害などの心の問題を抱えている子どもたちに、集団療法的手法を使った思春期デイケアを本格的に実施。

プログラム

12:30~	受付開始
13:00~13:05	開会セレモニー
13:05~13:20	功労者表彰
13:30~15:00	特別講演 演題：「こころの健康を考える ～家族・当事者・精神科医の立場から～」 講師：夏苺 郁子氏 (やきつべの径診療所精神科医) ※特別講演だけでも参加できます。
15:10~16:10	私の主張発表・私たちの活動報告Ⅲ

予約
不要

主催：岐阜県・岐阜県精神保健福祉協会 (法務省委託事業)

<問合せ先> 岐阜県精神保健福祉協会 〒500-8385 岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館3F Tel&Fax 058-273-5720